

活用するスマート農業技術

栽培管理システム

新たな生産の方式

データを産地内で共有し、次期栽培に活用

水稲において、栽培管理システムから得られたデータ（地力、生育状況など）を産地内の農業者と共有し、そのデータと比較しながら次年度の栽培管理を改善する。

<申請者>

株式会社 アグリラボ（山形県村山市）

経営概況（2026年3月時点）

経営規模：水稲29ha、露地野菜3.7ha、
施設野菜7a、野菜苗20a

従業員数：7名

<対象品目>

水稲

<計画の実施期間>

5年間

<活用予定の支援措置>

補助事業の優遇措置

<生産方式革新事業活動のイメージ 等>



栽培管理システム（KSAS）



アグリラボの皆様

～認定を受けて一言～

弊社ではスマート農業技術を活用することで労働生産性向上を目指し、地域の農地をより多く担うために本計画の策定に至りました。より多くの高品質な農産物を生産することで、地主、消費者、流通全てに貢献できるよう、より一層頑張ります。